

陳 情 文 書 表

(都市計画局)

受 理 番 号	2 7 0 2	受 理 年 月 日	令 和 4 年 2 月 16 日
件 名	都市計画マスタープラン等についての市長の見解		
要 旨	<p>以下の点について、京都市会において、趣旨を御理解のうえ十分議論を尽くし、京都市長にただすことを願う。</p> <p>1 京都市都市計画マスタープラン（以下、「マスタープラン」という。）には、京都府が作成した北山エリア整備基本計画（令和2年12月）における北山エリア整備イメージ図が、マスタープランの将来像を実現するための主な施設整備内容として掲載されているが、京都市長はこのイメージ図が市民の声を反映していると考えているのか。また、京都府の整備計画が変更されれば、自動的に差し替えることになるのだろうか。市長がどのような見解を持っているのか。</p> <p>2 北山エリア整備基本計画が発表されて以降、計画の見直しを求める署名が10万筆を超えて京都府に提出されていることを京都市長は知っているのか。また、このように見直しを求める声が多いことについて、市長はどのような見解を持っているのか。</p> <p>3 マスタープランの北山文化・交流拠点地区の、本地区のまちづくりに当たって配慮する事項には、次のように記載されている。</p> <p>(1) 北山通より一筋北、下鴨中通より東、大学南側通より南は、閑静な住宅地を形成しており、周辺環境と調和するよう配慮するとある。1万人収容可能な商業アーリーナの建設計画と閑静な住宅地への配慮との整合性について、市長はどのような見解を持っているのか。</p> <p>(2) 地区内外の立地施設間のハード・ソフト両面での連携・協働を一層推進し、利用者目線でのまちづくりを進めるとある。地域の住民の声、地域で商業を営んでいる人たちの声をどのように集約し計画に反映しようとしたのか、市長はどのような見解を持っているのか。</p> <p>(3) 地区全体の整備に当たっては、再生可能エネルギーの活用等環境に配慮するとともに、防災性にも優れたエネルギーシステム等の導入についても考慮する必要があるとある。そこで、地区内において、太陽光、風力、水力を駆使して発電し全ての電力を供給し、大型蓄電池を設置して、停電時にも電気が供給できる防災拠点とすることを提案する。この提案について市長はどのような見解を持っているのか。</p>		
陳 情 者			
回付委員会	まちづくり委員会		